

月根尾寮だより

10月号



◀ 校訓 ▶ 『自律』 『友愛』 『進取』 『創造』

島根県立飯南高等学校寮務部

保護者の皆様、日頃から月根尾寮の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。
先週まで1年生は国際交流体験学習、2年1組はインターンシップ、また連休で帰省している寮生も多く、比較的静かな月根尾寮でした。今週に入りやっといつも通りのにぎやかな寮が戻ってきています。10月は球技大会やロードレース、生徒会役員選挙などの行事もある上に、今年創立70周年記念式典もあり、寮生も忙しそうにしています。

月根尾寮と小論文の親和性について

国語科 岡 秀樹

夏季休業中、3年生の希望者を対象に大学受験の小論文対策講座を実施しました。この中で、非常に興味深いことが分かりましたので、『月根尾寮だより』の場をお借りして保護者の皆様にも紹介したいと思います。

講座では小論文を書く時間を2回ほど設けて添削をしました。小論文は100点法ではなく、A・B・Cの3段階で評価するのですが、ある時ふと「A（大変優れている）」の答案に寮生の割合が非常に高いことに気が付きました（うち1回はA評価の全員が寮生）。私はこれは単なる偶然ではないのではないかと考え、その要因について分析してみました。それが以下の3点です。

- ①寮生は「マイプロジェクト」など、課外活動に意欲的に参加している
- ②「森の学校サマーツアー」などの行事に関わることで企画力を鍛えている
- ③テレビの取材が入るなど、自分の状況を客観的に見る場面が多い

特に、①については、生徒全員に声を掛けて案内をしても申し込んでくるのは寮生だけという例が多く、これは寮に受け継がれた一つの「伝統」になっているようです。こうしたプロジェクト的な学習によって飯南町の魅力にふれる機会も多くなり、さらにこのことが本校の学校設定科目である「生命地域学」につながる…という好循環を生んでいると考えられます。②③も含め、月根尾寮を取り巻く環境そのものが小論文を書いていくための基盤作りにつながっているように思われるのです。

親元を離れた生活をしていく中で自活能力が身に付いてたくましくなっている、ということはよく指摘される点です。これに加えて、生徒は寮生活をしていく中で自分の進路を切り拓いていく力も身に付けていることが見えてきました。

小論文は、現在教育現場で重視されている「思考力・判断力・表現力」を総合的な形で試される試験であると個人的に考えているのですが、この難しい形式の試験と寮生活の親和性の一端が確認できたことは大きな収穫でした。

秋の夜長、3年生は進路決定に向けてさらに意欲的に学習に取り組んでいます。私たち教員集団もできるだけサポートをしていきます。今後ともよろしく願いいたします。

《 週番の仕事 》

毎週ごとに“週番”がいろいろな仕事を交代でやっています。今回はその仕事の紹介をします。週番は部屋ごとに男女それぞれ分かれてやります。

まずは夜中の消灯前の見回りです。鍵閉めや消灯をして回ったり、その確認をして週番ノートにチェックします。夜の 22:50 に毎日しています。

またゴミ出しやお風呂のマットの洗濯もします。特にお風呂の後は洗濯機もたくさん回っているのを待ってから洗濯となる日もあります。舎監の先生に最後はサインをもらって自分もようやく就寝です。



寮で暮らしていると自分たちでやるのがたくさんあります。

食堂は公共の場所なので誰かがゴミをまとめたり、ドレッシングを最後に冷蔵庫に片づけたりすることは、気が付いた人がやります。

1年生の時にはまだ気が付かなかったり、勇気が出ずにできなかったことでも、上級生になるにつれて責任感ができてやれるようになります。こんな生活の細かな部分も自分たちでやっています。



《 主な行事予定 》

- | | | |
|-----|-----------------|-------------------------|
| 10月 | 17日(水) | R54清掃活動(2年) |
| | 18日(木) | 生徒会役員選挙 |
| | 20日(土) | 創立70周年記念式典(出校日) |
| | 22日(月) | 振替休業日(10/20) |
| | 25日(木) | 校内ロードレース(男子9km、女子8.6km) |
| | 29日(月)~11月9日(金) | 公開授業旬間 |
| 11月 | 5日(月)~11月9日(金) | 人権週間 |
| | 8日(木) | 雲南地区高体連体育大会 |
| | 13日(火) | 校内防災訓練・月根尾寮防災訓練 |